

秘密の店の物語

“いつヒーローに?”





戦いの日の夜明けと共に、
日光が、ひっそりとしたその聖域を照らし出す。
人はそれを秘境と呼ぶこともあろう!

密かにその聖域をを見つめる者は...



...日の光...



...ばかりでは無い!

突如現れたこの珍獣は
一体、何なのか？



それともいぶかるべきは...



...その持ち主か？



ゴホン!





ああ、FRULL!
ようやく見つけたぞ!

ほう、お前さんも
最適な場所を
見つけたようだ!

ならばいつもの
やり方で。



Klik

さあ、
始めよう！





少々
休憩して...



...人生の渴きを
癒してから。



よし、再開!

FLOOMPH



店主はその話術に磨きをかける...

お前さんは
駆け引きの
価値を知った
ヒーローと
お見受けした!

この素晴らしい
EAGLESONGは
どうかね?

もちろん
HYPERSTONEを欠いた
英雄的偉業の
空々しさには
同意する他あるまい?

違う?

ならば
血から鍛造された
REAVER'S
AXEは
いかがかな??

本当に?

これを包んで
差し上げよう?

さあ、お嬢さん、
最後の
仕上げを
頼んでもいいかね...





持ち上げて!



ほう!



ふむ?



ハッ!



クラク

ハッ!

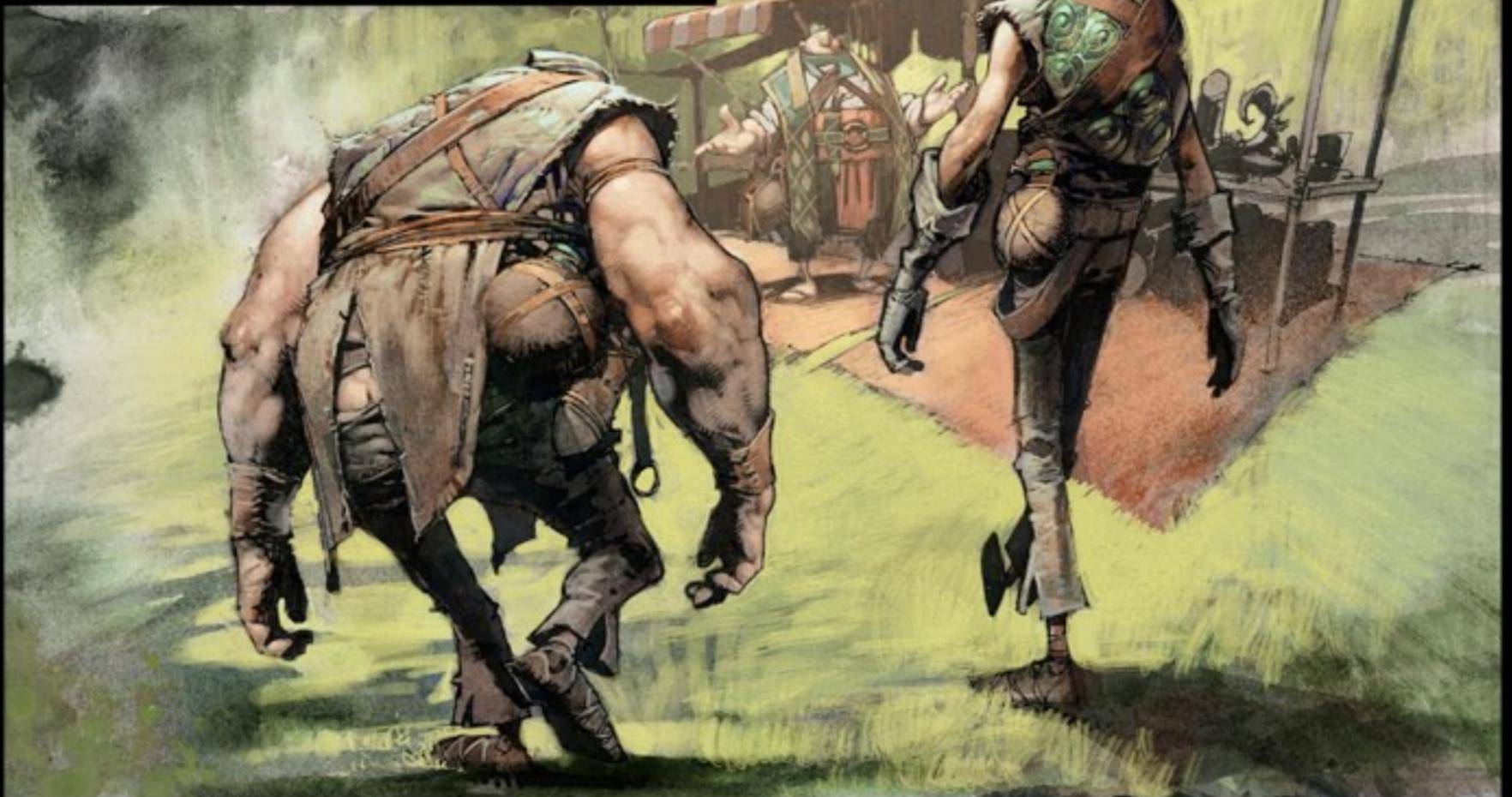


全然秘密じゃねえよ、なあ？



しっかり
キーパーを
見張っとけよ

しゃべりは全部
俺に任せろ...





あんたの店
相当いいな。
品質も
文句なしだ。

取り扱いが
極上のヒーロー必需品のみ!

それはそうと、
以前確実に
お前さん達を
お見かけした
記憶が
あるのだが。

もしや
ヒーロー
ではあるまいか?



俺はSITHILで
連れのかいつは
QUIRT。



...フン...

栄誉を受けるほどの
偉業はまだだね。



だが、あんたのあの
おもしれえ旗立てに匹敵する
くらい高いやる気はある...

...なんつーか、
機会になかなか
恵まれなくてな!



英雄らしい
言葉遣いを
SITHIL殿!



MAD MOON
が粉々に裂け落ちた時
ANCIENTS
が地に落ち...

NEMESIS石の
破片が散乱した。

悪魔の鍛冶屋
ABZIDIANが2つの
破片を自分の物とし...

そこから
鍛造されたのが
DEMON EDGE:

DIRE石の柄には
抜け目の無い彫刻が施され;

その刃には
RADIANT 鉾石の破片が喰る。



しかし、その武器が
完成したとき...

彼は、それを扱えるのは
ヒーローだけであると悟り、
たいそう悔しがった。

その刃を試そうと、
悪魔の鍛冶屋ABZIDIANIは
自らを滅ぼしたのだった！

その日から
DEMON EDGEは
手から手へと
渡って行くが、

それを長く手中に
携えられたのは、
ヒーローだけであった。

武器の中で眠る
古よりの戦いが
始まり...

か弱き人間
の誰一人、
その力を
操れる者など
存在しなかった！



そんなら、なぜ俺らがあんたの力になれると？

恐れるなかれ！

先の戦で破壊され、その柄と刃はバラバラになった…

という情報を得たのだ…



キキィー！



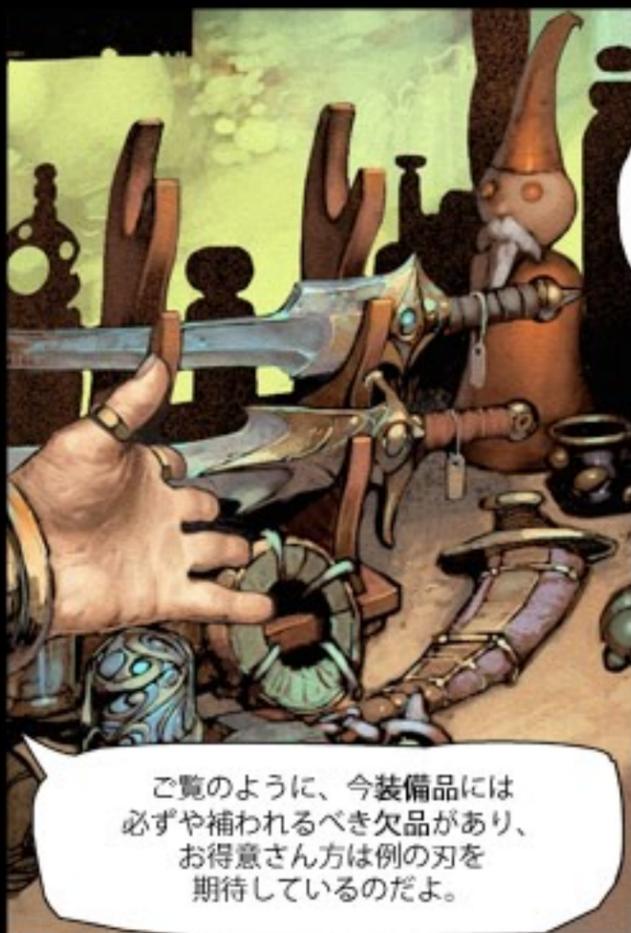
そうだ、ROQUELAIRE、お前さんのガイドが必ずや彼らの役に立つだろう。

…ギギイ…

そうなるといいですね。



冒険自体がその報酬であるという提案をするのは浅はかな考えであるかもしれないが…



ご覧のように、今装備品には必ずや補われるべき欠品があり、お得意さん方は例の刃を期待しているのだよ。



まあ、もし良ければの話…可能だってんなら…

ちょっとした説得力って言うかだな…

俺が言いたい事をなんと表現すべきか…



もちろんだとも、剣が無事帰ってきた時にはその報酬をたっぷりと支払う用意はある！



ちょっくら失礼…相棒と相談したいんでね。

お好きなだけどうぞー

えっ？

奴が動物用の麻酔薬を持ってるか聞いてくれよ！



元に戻しなさい！

隠れて取引をしないでくれ



その調子!
その調子!

なあ...
一体全体あそこで
何が起こった?

何が起きたかって?
俺らに目標が
できたって事よ!

俺はてっきり奴が
目標かと思ってたぜ!

指名手配犯!

この悪党に見覚えはありませんか?



以下に記す理由により
指名手配中:

捏造、詐欺行為、誘拐
偽造、略奪
窃盗 (軽窃盗及び重窃盗)

いんちき療法、ライセンス無し
でのポーションの調剤、密輸、
密造、駄獣の過失に対する
加担

強盗 (路上強盗、墓強盗
及び空中強盗) (武装及び非武装)

公務員への成りすまし
ヒーローへの成りすまし
(単独及びペアでの犯行)

一般的な違法行為、
芳しくない種類の
人間との違法共謀行為

...その他諸々の
数え切れない程に
種類に飛んだ犯罪



なあ、もう一度聞か
俺らが---

シッ!人に
聞かれると
まずい!

あの秘密の店から
盗める者が
いるとでも?
キーパーは神々
のお気に入りです!

---誰かさんがあのキーパーを
片付けて、奴が持ってるモン全て頂くっ
てのはどこがマズイんだ?絶対、
シュークリームを殺るより簡単だ。



今まで誰一人
試した者さえ
居ないってか?

掃いて捨てる程!
しかし、成功者数は
わずか1です。

ROSHAN、
だろ?!

でも奴は**AEGIS OF
IMMORTALITY**を盗む
だけじゃなく、キーパー
まで殺したそうだな!



そんなのに比べた
ら、窃盗なんて
カワイイもん
だろうよ...

危険を覚悟の上
お試しください。

ですが、ROSHANは
今後死ぬことなく;幾度と
無くその宝を盗まれる運命
に置かれたことを
くれぐれもお忘れなく。

神々はなんとも皮肉な罰が
お好みの方ですね!



けっ! そんな妖精ちゃんを
怖がらせるための作り話だ!

あなた達がそれを
信じようが信じまいが
かまいませんが。

すぐその空き地にあなた方の
クエストが待ち受けています!

ホントかよ?

ええ、
確実に!



DEMON EDGEが破壊された事で起きた混沌のせいで、私チョット混乱してしまったようで...

ココまで下りて来い。俺が頭をハッキリさせてやる。まず首あたりから直してやるぜ。

この辺には本物のヒーローが居て、私の腕を買ってくれているんです。

ちょっとばかり上昇して上空から探しましょうか？

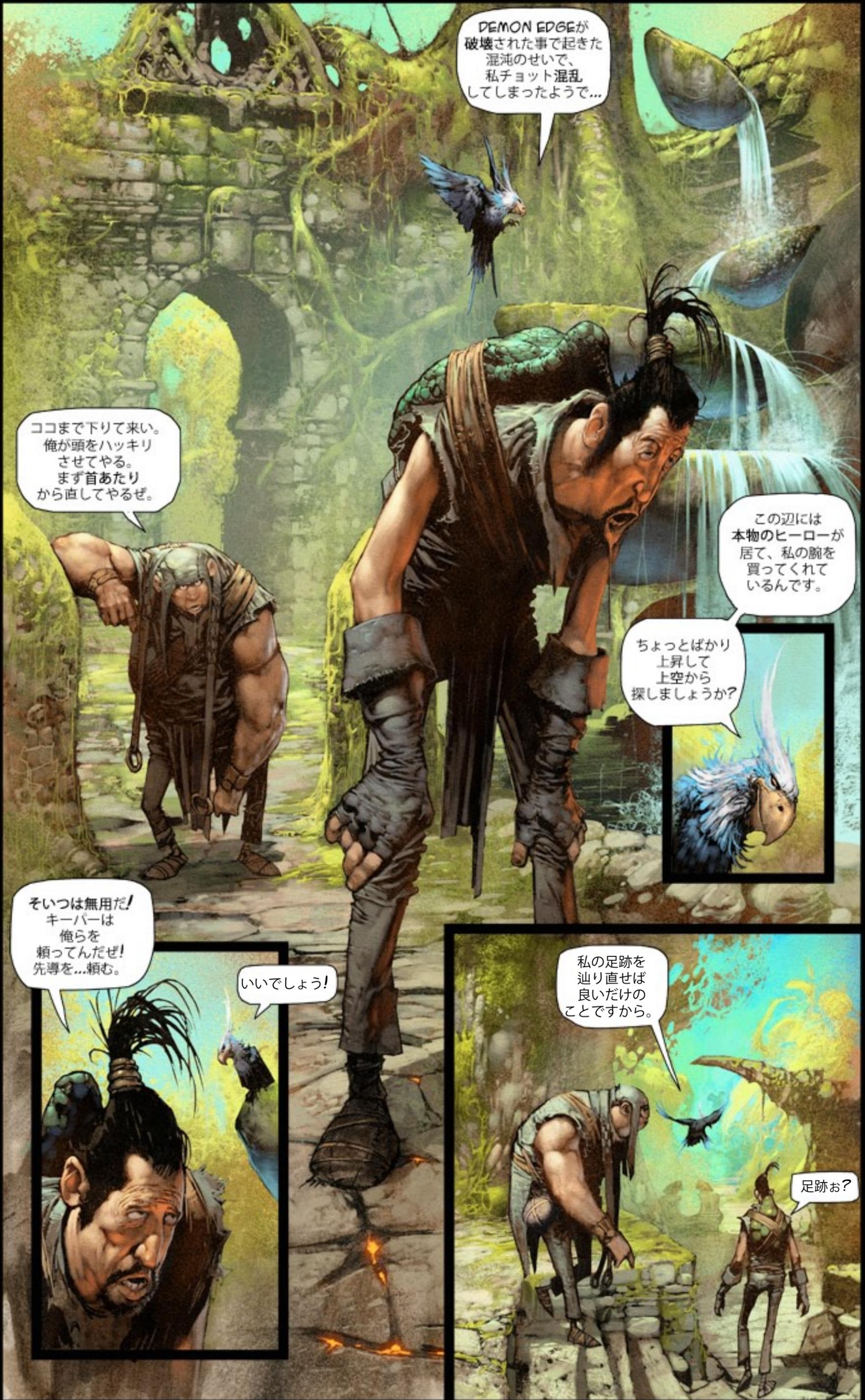


そいつは無用だ！キーパーは俺らを頼ってんだぜ！先導を...頼む。

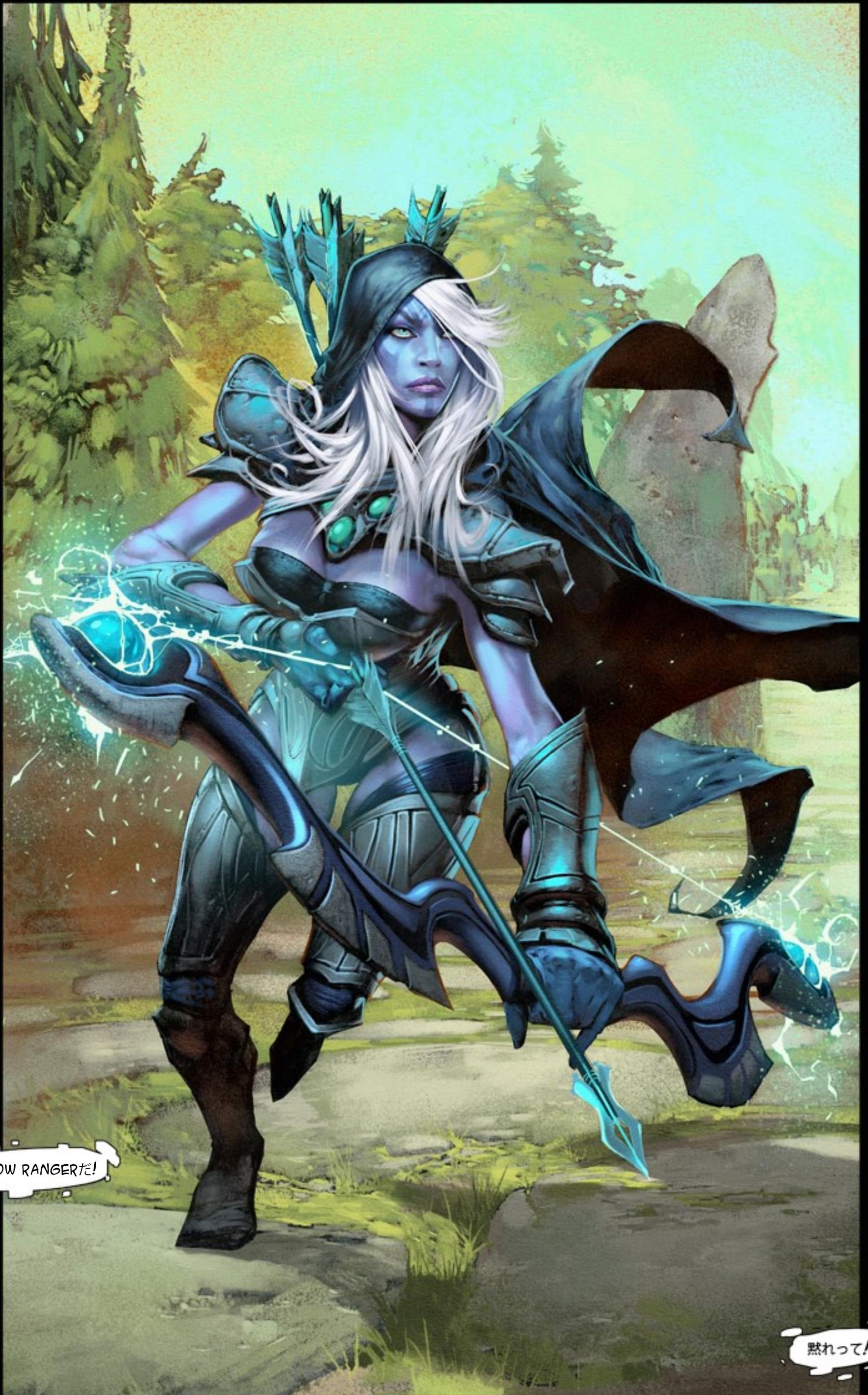
いいでしょう！

私の足跡を辿り直せば良いだけの事ですから。

足跡お？







DROW RANGERだ!

黙れって!



ああ、俺がヒーローになつて...あんな仲間が居たら...

お前みたいなのに彼女が気づくかよ、正気か?



もし俺がヒーローなら彼女は気づくんだよ!

お前の妄想はもう沢山だ。CREEPSが近づいてくる!



気の毒なDIREの野郎どもをってみろよ! 終わり無き戦いに疑問を持つことも無く... 光った古い石の窟になったままだ!



RADIANTのあほ共もそうだ。絶対にだまされんなよ! 精神レベルでは、あいつらの方が高潔かもしれねえが、あいつらの方が自由なのか?



自由なんて物ねえよ、SITHIL。それはそうと...

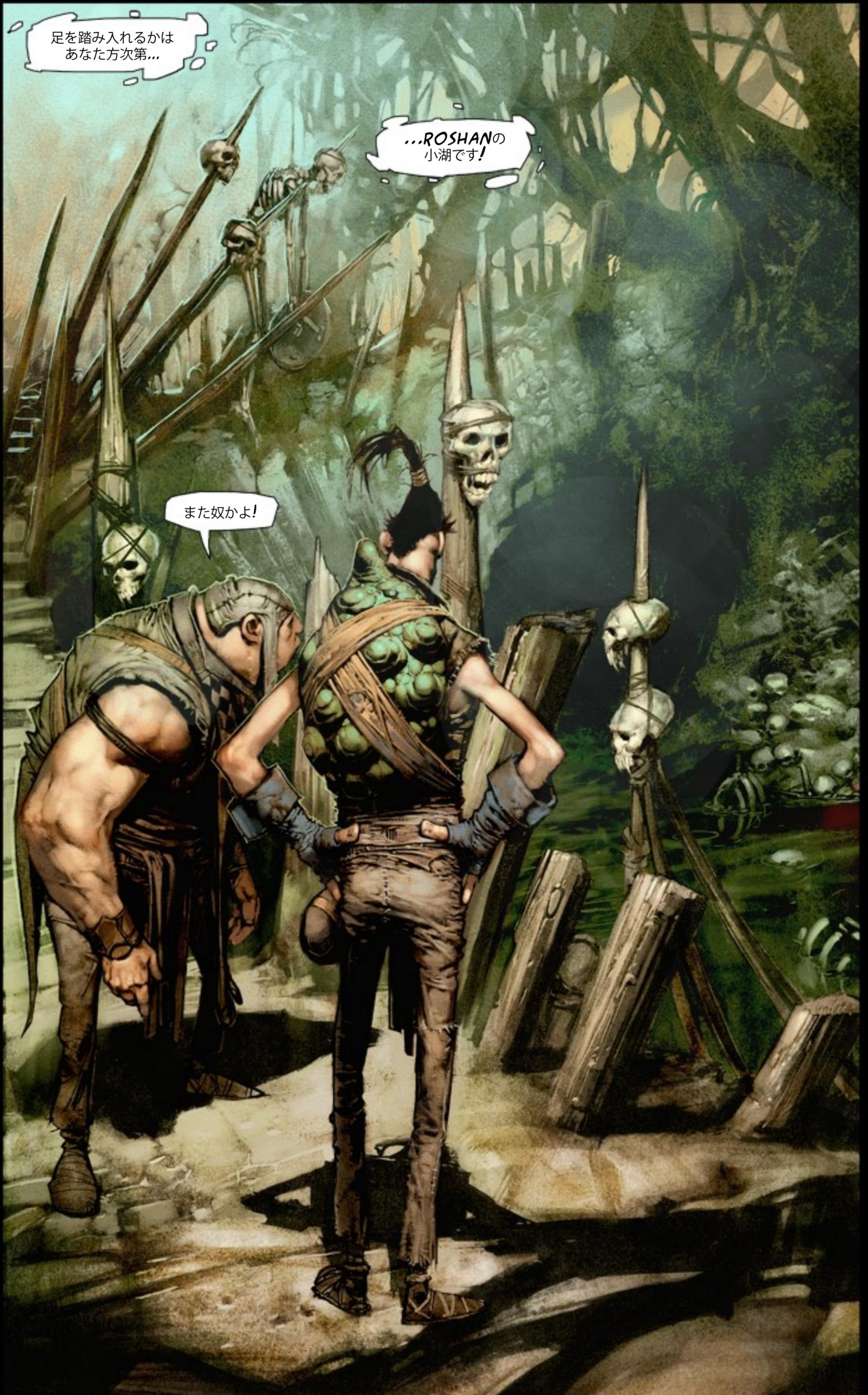
鳥野郎! お前は今まで何か役にたったかよ? 剣はどこなんだ?

あなた方をギリギリの所までお連れしました!

足を踏み入れるかは
あなた次第...

...ROSHANの
小湖です!

また奴かよ!





間違いなく、
ここがその場所
です!

今まで私がこの邪悪な
ROSHANの小湖をなぜ
思い出せなかったかは、
聞かないで下さい!

黙れ、鳥が!

それでは、私は
キーパーの元へ急ぎます。
私の言葉を邪険にせず
感謝してくれますから!

ハゲタカ女神のご加護が
キーツ
あなた達に生暖かく
降り注ぎますように!



今まで何人の
ヒーローがここで命を
落としたと思う?



奴らの命なんか
どうでもいい。
俺が欲しいのは
奴らのお宝だ!



ここからは分かれるぞ
忘れんなよ....

...DIRE石の柄と、
RADIANTの刃だ!



RADIANT DIREと...
柄鉾石の刃...



おお...
俺がもう
ちょっと小顔
だったらよ!



なあ、あの鳥が言ってた話、
ROSHANが秘密の店から
AEGIS OF IMMORTALITY
を盗んだってのは事実だと思うか?

もしお前が
おとぎ話を
信じるんならな。



DEMONの箇所だけは
信じて、おとぎ話は
信じねーってか?

俺のかあちゃんが
おとぎ話をした時
DEMONに食われたんだ!



しかし、
ヒーローでさえ、
ROSHANの小湖を
恐れるってよ。



へっ!
俺にとっては
ただのきったねえ
ブールだ。
しかも、今カエル共
にしか迷惑かけて
ねえよ。

おい、
これは
何だ?!



手を放せ!



俺らが探してる
剣はそれを
ドラゴンの体重分
集めたくらいの
価値がある
だからよ!



...ぶつ
ぶつ...



おっ?



もしかして?



遅えねえ!



怪我しねえ
ように
慎重にいくか。



しかし、
柄が無え状態で
しっかり握るのは...

...至難の業
だぜ!



柄、って言ったな?



なあ DEMON EDGE、
俺を拒むって
言うのか?

何だって?
俺みたいな奴に
会ったことがあるって?

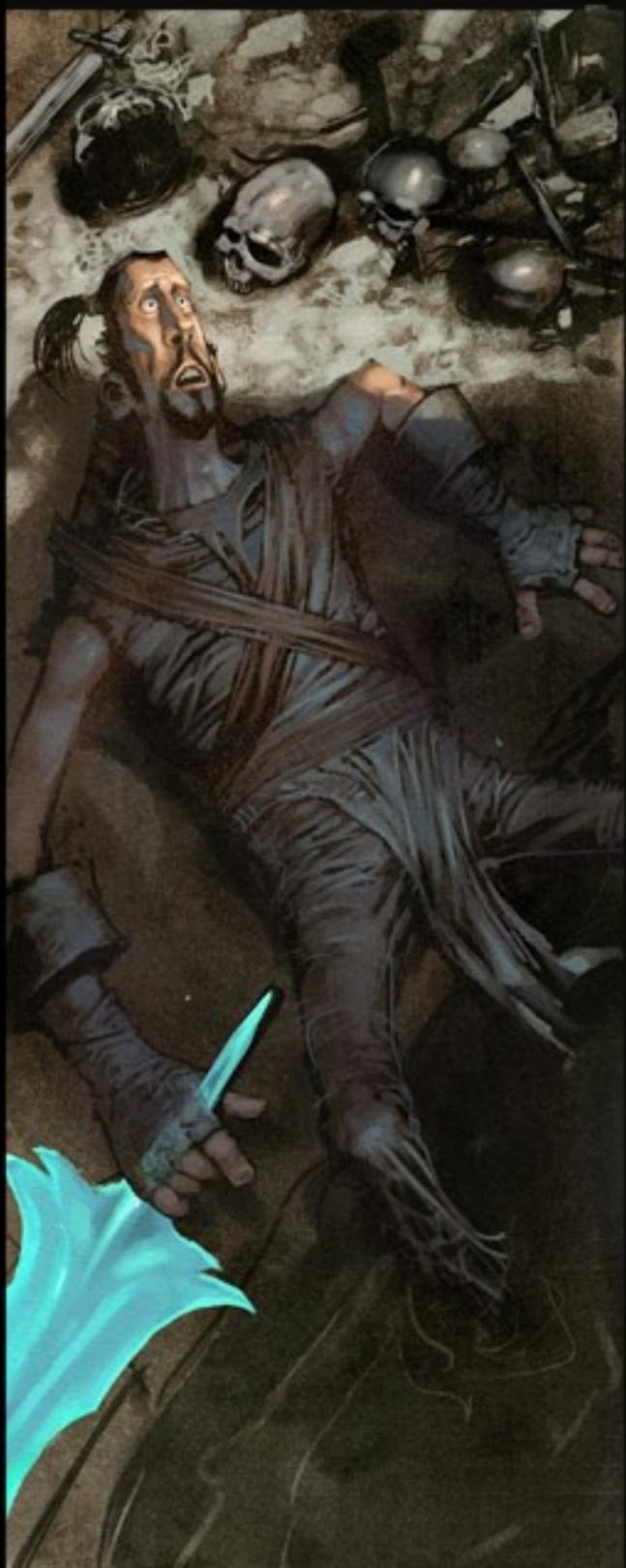
言っとくがな、俺が
お前を説得する方法は
腐るほど
あるんだぜ...



でもって、いくら
思慮深い男でも
たまには
こんな風に...

暴力に
頼る!

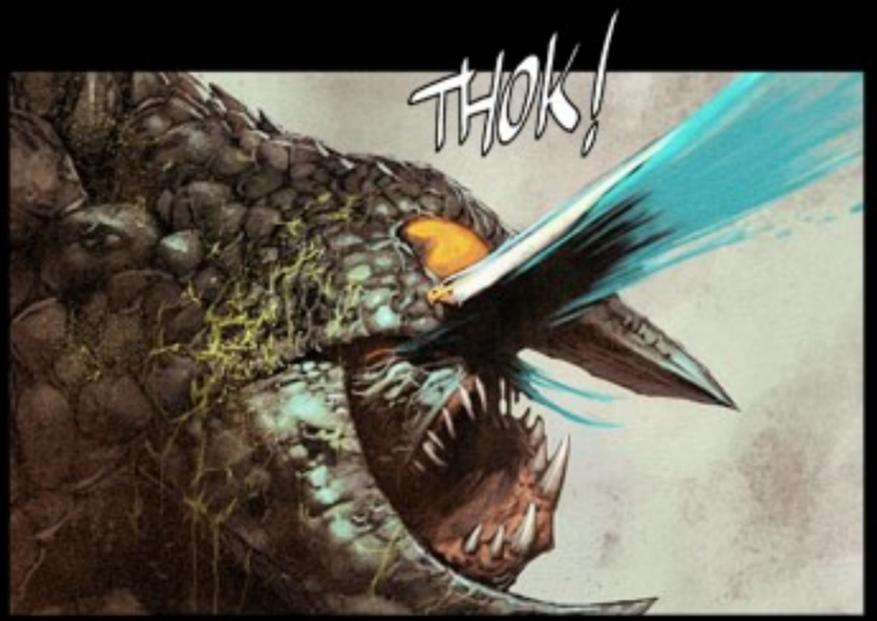
Whannagg!







...おとぎ話...







崇高な
生き物の間ではなあ
法的な同意よりも
その意思が
重視されるんだ!



崇高だあ?!
俺は今まで誰と
話をしてたんだ?



そっくりそのままお返しするぜ!
お前のカツゼツの悪さとその訛り、
おまけに丸い背中とその姿勢は、
今までお前が好んで付き合ってきた低俗な
仲間とさぞかし相性が良かった
に違いない。



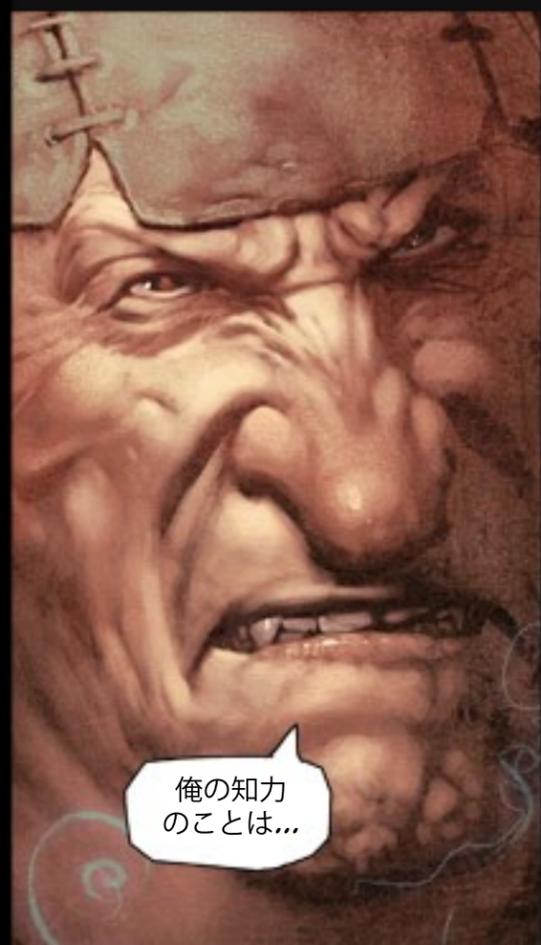
小難しい単語並べても
このレアなお宝を
諦めるわけねえだろうが!
キーパーが言ったからって
はいそうですか
なんて言うか。
すぐ裏切る奴も信用
できねえ。オマー
のことだ!

そんなら簡単に言うぜ。
俺の命にかけて誓うが、
俺がお前を突き刺せば、
お前は必ずあの柄を
手放すことにな
るだろうな!



陰湿な蛇野郎め!
最初からずっと
俺を裏切るつもりで
いやがったな、
そうだろう?

俺の正直で純粋な
真意を疑うのか...
お前の鈍くて汚れた知力には
影響を与えられない事が、
ハッキリ分かったぜ。



俺の知力
のことは...



...ほっとけ!

THOK!



DEMON EDGE...



それは...



俺の物だ!



!



手を放せよ!

死んでも断る!





いただき!



RADIANT
の名にかけて!

SITHIL、
俺だ!



SITHIL?



...SITHIL...







ヒーローだけが
手に出来る剣ってか？



なら、俺は
良くやってる
ようだ。

剣自身が俺の
持ち物になるのを
望んでたみてえだ



俺は一騎打ちで
ROSHANに
立ち向かった！
と言えなくもねえ。

ちったあ
ヒーローっぽい。



俺がヒーローになる
ってんなら、あの店には
近づかないようにする方が
良いだろう。



無意識に
物を盗む傾向が
あるからな。

いや、古き誘惑から
距離を置くには
相当離れた方がいいに
違いない。



この剣が
俺にそうなって
欲しいと期待
してるみてえに
ヒーローらしい
振る舞いを
しなきゃな。



DEMON EDGE...

...俺は...

...お前を...

...放さねZZZ...







今までとても
光栄だった!

とんでもない。
こちらこそとても
名誉なことだった。



QUIRT、
でしたな?



貴方には
感謝せねば!

貴方がコソコソと
動き回るのを
見たときに
ピンと来たのだ!

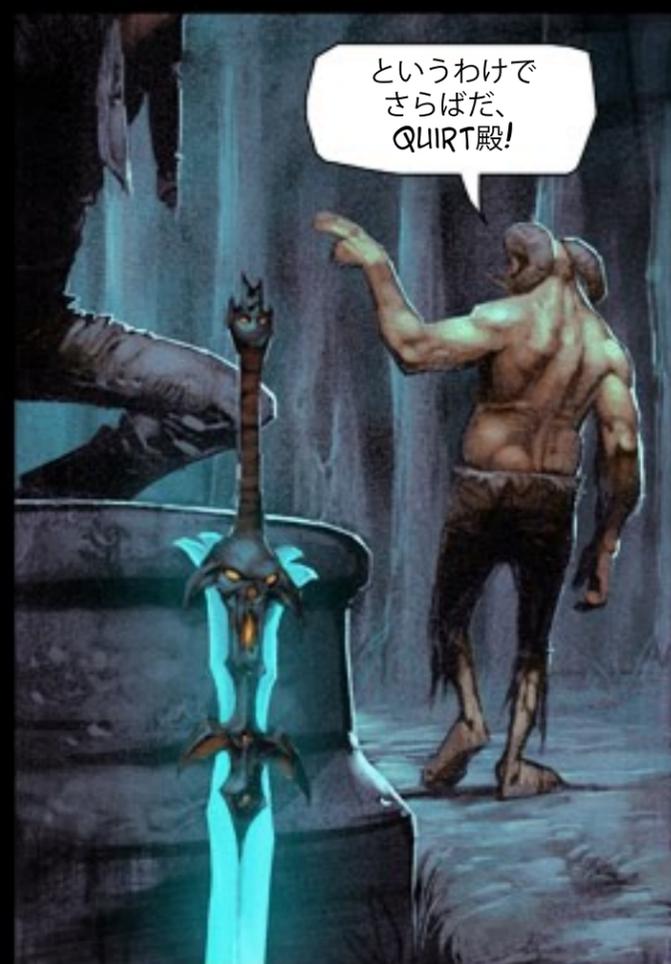


私もかつては、貴方の今居る
位置でしゃがんでいたものだ。
数世紀程で、私の位置まで
辿り着けるだろう。
数十年に一度、話を
信じない愚か者が現れる。
その時を待つのだ!



最後に一つだけ、
長年の試行錯誤に
基づくアドバイスを
差し上げよう:

荷物は、
腰を入れて
持ち上げよ。



というわけで
さらばだ、
QUIRT殿!



頼むから
あの鳥野郎
には---



---おお **KKKK**...



その後間もなく...

ZZZZZZ



フンフンフン...
フフフーン♪
フンフン...



やあ、おはよう、
お嬢さん!
STRONGBLACK
をご用意した!

ZZZZ
@!/?
★



さてと!
今日は何が
見つかるかな?



ああ、愛しの
DEMON EDGE!



何としても
ここに戻ってくると
分かっていた。



いつものように!



その方法は
知る由も無いが...
重要ではない。

ROQUELAIRE!



KLIK!



はい、任せて
ください!



おしまい!
...かな

探しています!

私達に見覚えありませんか?



バラバラなってしまった組合を元通りにするご協力を!

SITHILとQUIRTの両者は、
組合費の納入は遅れているものの、
悪党組合の優秀なメンバーです!

縛られた社会においては誤解されがちで
すが、仲間(酷くひんしゆくを買ってい
る同志)からは非常に慕われており、
不法芸術における模範的な実践者として
認められています!

認定済みの吟遊詩人によって
語られてはいますが、両者の名前は
もはや狡猾、二枚舌と同義です!

惜しみなく古代遺物を発掘し、
妖精には寛大であり、不正行為の
新参者に対して非常に思いやりのある
インストラクターです!

どんな情報でもかまいませんので
静かなる自慢屋の宿屋店主
SLY CUTTLESまでお寄せ下さい。

最後の目撃情報は
秘密の店付近です!
仲間が心配しています!



言っとくが、全部
かなり昔の話だぜ!



だな、あん時はまだ
ROSHANの小湖って名前で
溶岩だまりじゃなく
水たまりだった!

俺のダチをその罠から救うのに、
数年に渡る構想を要したぜ。



冗談抜きで時間かけ過ぎだ!

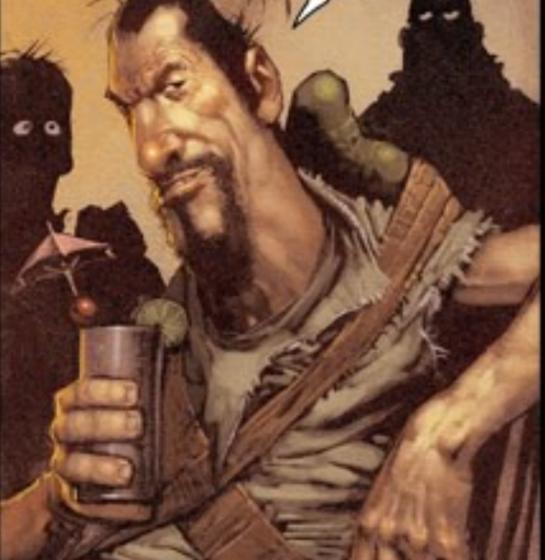


CREEPの
バカ高い
死亡率を
知らないとは
言わせねえよ。
そのうちの一匹に
ならねえように
細心の注意が
常に必要だった
もんでね!

認めろよ...おめえ昔から**RADIANT**
のこと結構気に入ってたろ。



そうかもな、
俺には緑が似合い
過ぎる!



お前のはまだ
マシだったぜ。
俺の恐怖は
消えねえ。



...誰かの
ケツを頭に
かぶるってのは
生きた心地が
しねえ...



次の酒は全部
QUIRTのオゴリだ!

なんたって、
最近新たな
資金源を
引き継いだ
ばかり
だからな!



おい、
そうやって
吹聴するのは
控えろ。

キーパーは俺らみたいな
ヒーローらしくない種類と
取引してることを
知られたくないはずだ。



それに、奴がこいつを
手放すなんて、よっぽど
の理由だったんだろ。



Thwap!

ありがたいが
同時にやっかい
な代物だ!



その利益は
莫大だっけのは...
疑いねえがな!